

第1回

新たな大津市観光計画策定に関する意見交換会 会議資料

2025年4月21日

本日のゴール

マーケティング調査の目的と実施方針に関する合意形成

本日のアジェンダ

| # | 時間 | テーマ | 成果 |
|---|-------------|--------------------------|---|
| 1 | 10:10~10:15 | リクルートメンバーの自己紹介 | リクルートメンバーのプロフィールについて把握できている状態。 |
| 2 | 10:15~10:20 | 大津市の現状について | 大津市の観光課題について全員が共通の認識を持てている状態。 |
| 3 | 10:20~10:35 | 具体的な調査方法の説明（前半） | 参加者全員が調査の手法、目的がわかっている状態。 |
| 4 | 10:35~11:00 | 質疑応答 | 説明を受けて生じた疑問について解消されている状態。 |
| 5 | 11:00~11:15 | 具体的な調査方法の説明（後半） | 参加者全員がブログウォッチャーの機能も含めて、調査の手法、目的がわかっている状態。 |
| 6 | 11:15~11:35 | 質疑応答 | 説明を受けて生じた疑問について解消されている状態。 |
| 7 | 11:35~ | 次回意見交換会の日程調整と 次回議事の説明 | 第2回意見交換会の日程と議事が決まっている状態。 |

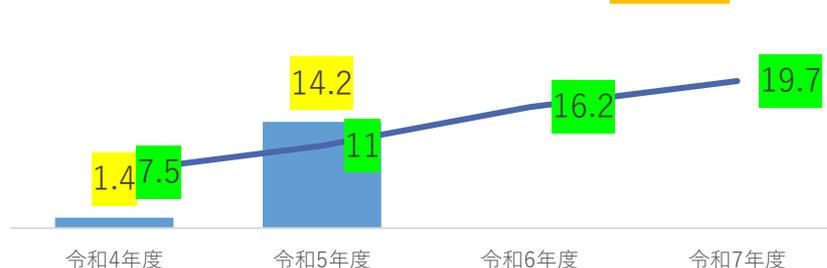
2. 大津市の現状課題

(1) 第3期計画のKPI振り返り

| KPI項目 | 令和5年度目標 | 令和5年度実績 | 達成率 |
|---------|---------|---------|-----------|
| 観光消費額 | 1,744億円 | 不明 | 不明 |
| 総宿泊者数 | 124.8万人 | 114.7万人 | × 92% |
| 外国人宿泊客数 | 11万人 | 14.2万人 | ○ 129% |
| リピート率 | 45.7% | 66.3% | ○ +20.6pt |
| 来訪者満足度 | 59.8% | 45.5% | × -14.3pt |



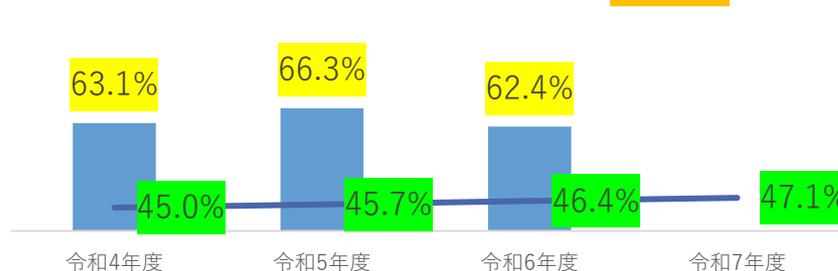
外国人宿泊客数 (万人) **達成**



観光消費額 (億円) **不明**



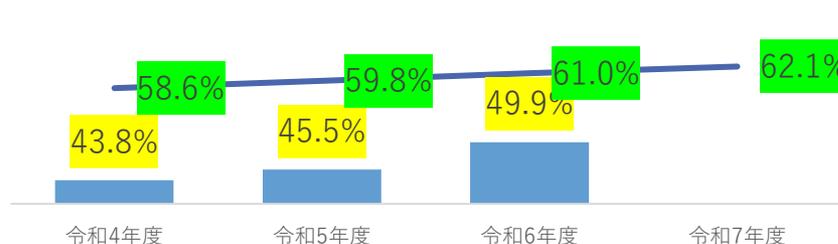
リピート率 (%) **達成**



総宿泊者数 (万人) **未達**

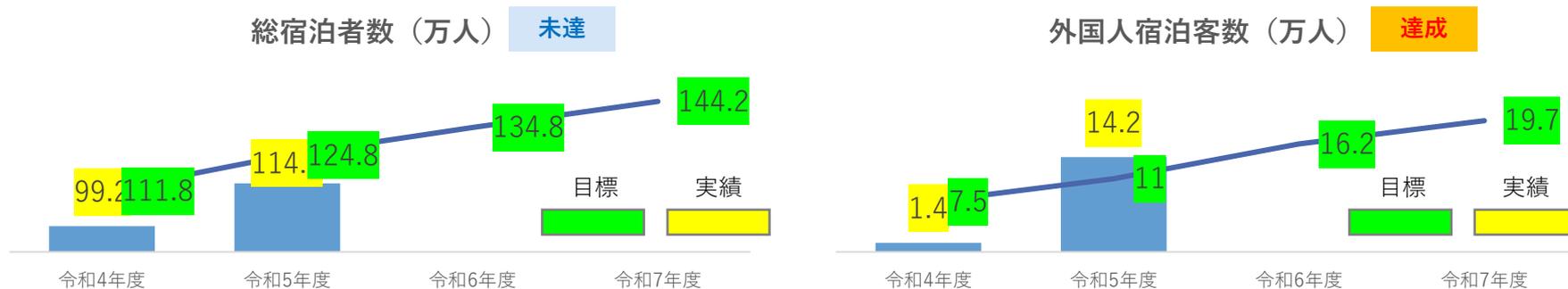


来訪者満足度 (%) **未達**



(2) 国内および訪日外国人旅行者の宿泊者数について

- 「総宿泊者数」において、外国人宿泊客数は目標大幅達成、国内旅行者は日本全体の伸び率と比較してが伸び悩んでいる



- 一方、観光庁の調査では2023年、全国での宿泊者数は2022年と比較して+21%と大幅に伸びています。

| 国内旅行全体 | | | | うち宿泊旅行 | | | うち日帰り旅行 | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|---------|--------|--------|
| | 延べ旅行者数 | 2019年比 | 前年比 | 延べ旅行者数 | 2019年比 | 前年比 | 延べ旅行者数 | 2019年比 | 前年比 |
| 2014年 | 59,522 | | -5.7% | 29,734 | | -7.2% | 29,788 | | -4.1% |
| 2015年 | 60,472 | | +1.6% | 31,299 | | +5.3% | 29,173 | | -2.1% |
| 2016年 | 64,108 | | +6.0% | 32,566 | | +4.0% | 31,542 | | +8.1% |
| 2017年 | 64,751 | | +1.0% | 32,333 | | -0.7% | 32,418 | | +2.8% |
| 2018年 | 56,178 | | -13.2% | 29,105 | | -10.0% | 27,073 | | -16.5% |
| 2019年 | 58,710 | | +4.5% | 31,162 | | +7.1% | 27,548 | | +1.8% |
| 2020年 | 29,341 | -50.0% | -50.0% | 16,070 | -48.4% | -48.4% | 13,271 | -51.8% | -51.8% |
| 2021年 | 26,821 | -54.3% | -8.6% | 14,177 | -54.5% | -11.8% | 12,644 | -54.1% | -4.7% |
| 2022年 | 41,785 | -28.8% | +55.8% | 23,247 | -25.4% | +64.0% | 18,539 | -32.7% | +46.6% |
| 2023年 | 49,758 | -15.2% | +19.1% | 28,135 | -9.7% | +21% | 21,623 | -21.5% | +16.6% |

2023年の国内における宿泊旅行者は、2022年と比較して+21%伸びています。大津市も同様に+20%前後の伸び率を実現できていた場合、本来であれば2023年は120万人前後の宿泊者数になっており、目標には届かないまでも、近い数字にはなっておりました。

全国的に宿泊者が大幅な伸び率を見せているのに対し、**大津市の国内宿泊者数がやや伸び悩んでいる**原因について、今回実施する調査で明らかにします。

出典：旅行・観光消費動向調査2023年年間値（観光庁）

(3) 大津市の観光における課題仮説

課題01

【認知・アクション（国内）】
国内観光客から大津が選ばれていない

課題02

【認知・アクション（訪日）】
京都を訪れる外国人観光客にもっと大津に来ていただくには

課題03

【周遊箇所・滞在時間】
大津市内での滞在と周遊が少ない（市外への流出）

課題04

【宿泊目的・満足度】
滞在・宿泊を伸ばし満足度を高めリピーターを増やす

(4) 調査の全体像

課題仮説

明らかにすべきこと

調査方針

課題01

【認知・アクション（国内）】
国内観光客から宿泊旅行先として
大津が選ばれていない

そもそも大津を知っているのか
何があれば大津へ来るのか
どこと比較して大津に来たのか
または来なかったのか・・・

調査01

国内観光客向け
ポジショニング調査

課題02

【認知・アクション（訪日）】
京都を訪れる外国人観光客に
もっと大津に来ていただくには

大津の認知度・誘客白地の把握

調査02

外国人観光客向け
街頭アンケート調査

課題03

【周遊箇所・滞在時間】
大津市内での滞在と周遊が
少ない（市外への流出）

大津市内観光スポット・
市外主要観光地における
周遊状況と滞在時間の把握

調査03

国内観光客向け
人流動態調査

課題04

【宿泊目的・満足度】
滞在・宿泊を伸ばし満足度を
高めリピーターを増やす

大津市内に宿泊した観光客の
宿泊目的/満足/不満の要因把握

調査04

大津市内宿泊者向け
QRアンケート調査

3. 具体的な調査方法について

課題01：国内観光客から宿泊旅行先として大津が選ばれていない

現状

- なぜ、大津市が旅行先として選ばれていないのか理由がわからない。
- 逆に、なぜ選ばれているのか理由がわからない。
- 大津市を来訪した人の居住地、年齢、家族構成もわからない。
- 大津市は、旅行先として、どこと比較されているのか、競合がわからない。

調査後に実現したい状態

調査後

- 来訪経験者における来訪理由、非来訪者の非来訪理由がわかっている。
- 来訪経験者の属性情報の傾向がわかっている。
- 来訪者・非来訪者の大津市コンテンツへの興味・認知度がわかっている。
- どんな地域と比較されているのか、競合がわかっている。
- どんな観光資源をアピールすれば、来訪意向が高まるのかがわかっている。

国内観光客向け **ポジショニング調査**

課題02：京都を訪れる外国人観光客にもっと大津に来ていただくには

現状

- 京都を訪れているインバウンド旅行者、特に欧米豪における大津市の認知度がわからない。
- また、どのようなニーズを持って京都まで来ているのかわからない。
- そもそも大津市に来てもらえるチャンスがあるのかわからない。
- 寺社、自然景勝など、大津市が有する主要なコンテンツをどのようにプロデュースすることが効果的なかわからない。

調査後に実現したい状態

調査後

- オープンソース等や専門家の意見を踏まえて戦略の仮説を立てた上で、調査を実施することで、大枠の戦略・戦術が描ける状態になっている。
- 京都を訪れているインバウンド旅行者、特に欧米豪における大津市の認知度がわかっている。
- どのようなニーズを持って京都に来ているのかわかっている。
- 京都来訪者がどこに宿泊しているのか、またその選定理由がわかっている。
- 京都を来訪している訪日旅行者に大津市に来てもらえるチャンスはあるのか、あるとすればそれはどんな層の人たちか傾向がわかっている。
- 大津に興味を持っている層は、大津市のどのコンテンツに興味・期待を持っているのかわかっている。
- また、大津に興味を持っている層が大津市を来訪してくれるとしたら、日帰りでの来訪なのか、宿泊してもらえるのかわかっている。
- 旅行中に旅程を変更する可能性がどの程度あるのか。

外国人観光客向け街頭アンケート調査

課題03：大津市内での滞在と周遊が少ない（市外への流出）

現状

- 名所と呼ばれる場所は多数あるが、なぜ周遊されていないのか、理由がわからない。
- 人気スポットと呼ばれている場所の前後、どこを訪れているのか、または訪れていないのかがわからない。
- どのエリア、スポットにどれだけの人が訪れているのかがわからない。
- 各エリア、スポットを来訪している人たちの属性がわからない。

調査後に実現したい状態

調査後

- 人気スポットと呼ばれている場所の前後、どこを訪れているのかがわかっていている。
- どんな人たちが、いつ、どこから来ているのか、スポット単位でわかっている。
- 似たような属性の客層に人気のスポットをグルーピングできるようになっている。
- 特定のターゲット層を呼び込むためのスポット同士のPKG売りができる。

国内観光客向け **人流動態調査**

課題04：滞在・宿泊を伸ばし満足度を高めリピーターを増やす

現状

- 宿泊者が、宿泊先として大津市を選んだ理由がわからない。
- 宿で過ごす以外の時間帯、どこを観光しているのかがわからない。
- どこから来て、どのような同行者と宿泊したのかわからない。
- 今回の宿泊に対する満足度や、情報入手経路がわからない。

調査後に実現したい状態

調査後

- 宿泊者がなぜ大津市に宿泊しようとおもったのかがわかっている。
- 宿で過ごす以外の時間帯、どこを観光しているのかがわかっている。
- 大津市で宿泊しながら、大津市を観光したいという意向があるか、ないかがわかっている。ない場合、どのような欲求を満たせば、その意向が生まれるかがわかっている。
- どのようにして大津市を知ったのか、情報入手経路がわかっている。
- 今回の宿泊における満足度がわかっている。
- 再訪意向の有無と、その理由がわかっている。
- 上記全てに関して、国内、英語圏、中国語圏からの来訪者の情報がわかっている。

大津市内宿泊者向けQRアンケート調査